

(注意喚起) 登園自粛や休園となる場合について

新型コロナウイルス(COVID-19)への対応 (2022年 第2報)

全国的に子どもの感染が爆発的に広がり、保育施設の閉鎖や小学校の休校が相次いでいます。先週より政府の方針が変更され、今後は症状のある方を除き、いわゆる保健所ではこども園に通う子ども、家庭、職員について積極的に疫学調査を行わないことになりました。

そのため、あらかじめ当園の今後の対応について確認のためお知らせを致します。

かぜっこ/学童クラブでは、当面のあいだ警戒レベル「2」を継続しますが、社会状況をみてレベル「3」に強める可能性(登園自粛)がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

子ども・家庭に体調不良がみられた場合

- 軽度であっても風邪症状が見られた場合には、極力休園していただくようご協力ください。ご家庭で体調不良やいつもと違う様子が見られる場合は、必ず登園前にご相談ください。
その症状が別の要因(アレルギー性鼻炎、ぜんそくなど以前からの持病)からくる場合を除きます。
- 保健所では今後は「濃厚接触者」への積極的な調査(疫学調査等)は行われません。感染が疑わしい場合などに休園する判断は、園とご家庭で相談して決定をしていきます。子ども・家族の体調の変化や、接触した人物などによって子どもや家族に感染の疑いが生じた場合など、いつでも園にご相談ください。保育時間外でもLINEやお電話でご相談ください。いずれの場合についても個人情報厳守いたします。

子ども・家庭・職員などに陽性者が判明した場合

- 陽性者があった時点で、原則として保育を中断し、休園とします。再開までの期間については、保健所の指示により決定します。
- 陽性の方や濃厚接触があった方の個人情報は職員を含めて非公表としていますので、個人が特定されることはありません。また、お問い合わせいただいても個人名などはお答えできません。
- 休園期間中に体調の変化や新たに陽性となった場合については、別紙、北海道、保健所からのお知らせをご覧ください。休園中の政府休業補償金についても別紙をご覧ください。

突然の休園や家庭保育に備えて、今から確認や心がまえを。

休園/休校になった場合や登園自粛の要請によって家庭保育を行う場合に、勤務先との調整や育児をサポートしてくれる家族、親族の協力体制など、各ご家庭で確認や準備をお願いします。

子どもや家族が感染、発症してしまった場合についても、療養期間中の育児の分担や療養生活の過ごし方、回復後の生活再建など、あらかじめシミュレーションしておくのもおすすめです。

不安なことや、家庭保育へのサポートなど、いつでもこども園/学童クラブへご相談ください。